

令和5年度当初予算において意見を反映した主な事業

◎意見数 36

(単位：千円)

テーマ1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保

「学生の地元定着のため、県内の中小企業の魅力を伝えることを目的としたインターンシップを推進してはどうか。」

⇒ 県内企業の人材確保を図るため、学生等の企業体験や、地域企業の魅力等のきめ細やかな情報発信を通じて、若者の県内就職を促進していく必要があることから、県内企業のインターンシップ受入れを支援するとともに、合同企業セミナー等により学生に県内企業を知る機会を提供するなどの取組みを推進していく。
(県内定着・回帰促進事業費【継続】14,178等)

テーマ2 競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化

「地域農業を支える多様な担い手の確保は喫緊の課題である。県外など他の地域から新規就農者を呼ぶ施策が必要ではないか。」

⇒ 新規就農者の確保・定着に向けては、新規就農希望者の研修を後押しする支援などを行っている。令和5年度は、就農体験支援、経営継承体制整備支援、経営開始支援により、農を起点として多様な人材を呼び込むプロジェクトを新たに展開していく。併せて、優れた技術と経営力をもって日本の農林業をリードし、国際的に競争力のある人材を育成するため、「東北農林専門職大学(仮称)」の令和6年4月開学に向けた準備を進めていく。
(元気な農業人材確保プロジェクト事業費【新規】69,684)
(東北農林専門職大学(仮称)設置推進関係事業費【拡充】3,399,869)

テーマ3 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化

「外国人観光客の意見として、「選択肢が多い」旅行プラン、また、日本の価値観を無理強いしない「懐の深い」観光を求める声がある。こうしたニーズを取り入れたプランを提案できるように取り組んではどうか。」

⇒ 県では、台湾などに配置した観光コーディネーターや日本政府観光局現地事務所を通じ、現地の旅行者のニーズ等の情報収集を行っており、現地ニーズを踏まえた本県の観光情報について、コーディネーターやSNS等を通じた発信のほか、現地の旅行博出展や商談会開催により、旅行会社や旅行者への訴求を図っているところ。今後、外国人客の増加が見込まれることから、ホームページやSNSを活用した情報発信の強化、観光客の満足度を高めるための研修等を行いながら、現地ニーズを踏まえた本県観光や旅行プランを提案できるよう、引き続き取り組む。
(ポストコロナに向けた観光復活推進事業費【拡充】56,144等)

テーマ4 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり

「高齢者の通院や家事の援助をする活動をしているが、コロナ禍で活動が中止となった時期があり、新型コロナは高齢者の生活にも大きく影響した。県としても、新型コロナの影響を把握・分析しながら、高齢者等の生活に対する支援を充実させてはどうか。」

⇒ 高齢者向け生活支援サービスについては、市町村が主体となり取り組んでいるが、県では、そうした取組みに財政負担をしているほか、担い手養成講座や生活支援サービスの立上げ・運営能力取得に向けた研修会などを行っている。今後は、コロナ禍のような状況にあっても、安全に高齢者等の生活に対する支援を維持できるような仕組みづくりを市町村と連携して検討していく。なお、令和5年10月に開院する新たな県立新庄病院においては、新たに「総合患者サポートセンター」を設置し、医療・介護・福祉に関する各種相談機能を備えた窓口を設置することとしており、地域との連携を図りながら、総合的な患者のサポート体制を強化していく。
(大学・地域の医療機関等との連携の推進【拡充】521,606等)

テーマ5 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用

「コロナ禍からの社会経済活動の正常化に向けて転換期を迎えている中で、不安定な国際情勢、資源価格の高騰など、社会は大変な課題に直面している。このような時期だからこそ、再生可能エネルギーへの切替えを推進してはどうか。」

⇒ 県では、平成24年に「山形県エネルギー戦略」を策定し、20年後の本県の目指すべき姿の一つに「再生可能エネルギーの供給基地化」を掲げ、再エネ資源を利用した新たなエネルギー資源の開発を積極的に進めている。令和12年度末までの再生可能エネルギーの開発目標(101.5万kW)に対する令和3年度末の導入実績は65.4万kW、目標の64.4%となり、全体としては概ね順調に進んでいるものと考えている。今後も引き続き、県内における洋上風力発電などの再生可能エネルギーの導入拡大に向け、しっかりと取組みを進めていく。
(洋上風力発電推進事業費【継続】4,835等)